



おぐら
尾倉

校訓
自主
創造
協力



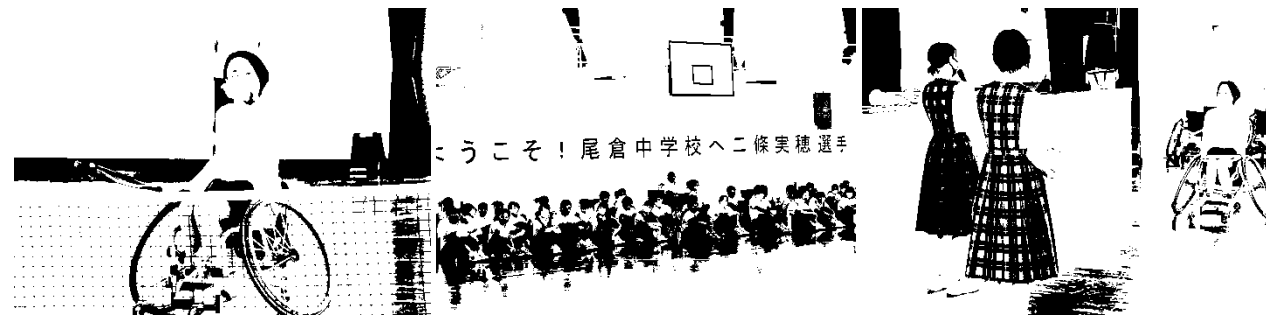
令和3年7月5日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

＜目指す生徒像＞

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー



オリンピック・パラリンピック教育講演会

リオデジャネイロパラリンピック 車いすテニス 日本代表 二條 実穂選手

7月1日(木)リオデジャネイロパラリンピック車いすテニス日本代表 二條 実穂 選手をお迎えして、オリンピック・パラリンピック教育講演会(実技体験含む)が行われました。

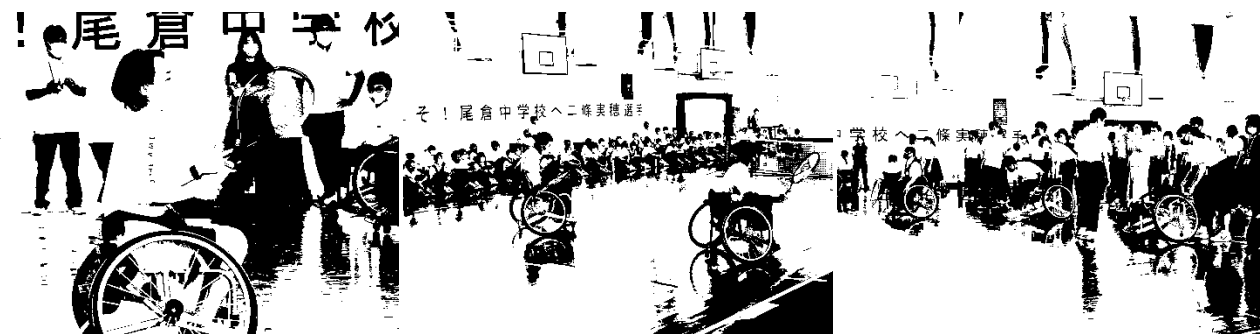
車いす生活になった経緯、日本代表になるまでの道のりをスライドを使って分かりやすく説明していただきました。特に、二條選手からは、4つのキーワード①心の中の「好き」を大切にする ②夢を言葉にし、宣言する ③他人と自分を比べない ④「無理」と絶対に言わない の説明が心に残っていると思います。ぜひ、この4つのキーワードを今の自分の生活と照らし合わせてほしいですね。

講演会の後は車いす体験、ソフトテニス部の3年生との実技、放課後もソフトテニス部と交流しました。講演の中で、先生は特に②、④が印象に残っています。

②については、先生が部活動の顧問の時にキャプテンによく言っていたことです。「チームで県大会に行きたいと思ってもダメだ。キャプテンが常に口に出して言うようにしなさい。思いは強くても、伝わらないと意味がないよ」と。終礼やミーティング、練習試合や大会の後にキャプテンが口に出して言うようになってから、チームはまとまっていき、最終的に県大会で3位になることができたことを昨日のこのように覚えています。

④について、アメリカの鉄道王と呼ばれたコーネリアス・ヴァンダービルトという人がこのような言葉を残しています。「人は誰でも、簡単に『できない』と言えない。『できない』というためには、あらゆる可能性を試した後でないと言えないのだから」

生徒の皆さんはどの言葉が印象に残ったでしょうか。この4つのキーワードをいつまでも大切にしてください。二條選手ありがとうございました。



オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要について(事業の趣旨及び目的)

北九州市は、スポーツ庁事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を受託し、大会の気運醸成を図っていく。また、本事業を通じて、幼児・児童・生徒が発達段階に応じて、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史、スポーツの素晴らしさに加え、国際的なマナー、スポーツと人権等について学ぶ機会とする。また、オリンピック・パラリンピアンをはじめ、スポーツ選手等を招聘した子どもたちとの交流、講演、スポーツ教室や、国際理解教育などを通して、オリンピックやパラリンピックについての理解を深め、東京2020大会への関わる契機とし、大会後も長期にわたり継承できることを残すための取組を着実に進める。

パラスポーツ 車いすテニスのルールを学ぼう！